

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 6 年 11 月 22 日(2024.11.22)

【公開番号】特開 2023-87845(P2023-87845A)

【公開日】令和 5 年 6 月 26 日(2023.6.26)

【年通号数】公開公報(特許)2023-118

【出願番号】特願 2021-202355(P2021-202355)

【国際特許分類】

G 0 6 T 7/593(2017.01)

H 0 4 N 23/45(2023.01)

H 0 4 N 23/60(2023.01)

G 0 1 B 11/00(2006.01)

G 0 1 C 3/06(2006.01)

【F I】

G 0 6 T 7/593

H 0 4 N 5/225800

H 0 4 N 5/232

G 0 1 B 11/00 H

G 0 1 C 3/06 110V

10

20

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 11 月 14 日(2024.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

30

複数の方向から撮影を行う撮像部で撮影した画像を取得する画像取得手段と、
前記画像取得手段で取得した前記画像に映る指標の情報を検出する指標検出手段と、
前記指標検出手段で検出した前記指標の情報に基づいて、前記画像取得手段で取得した
前記画像における視差又は前記視差から求められる奥行き値を補正する補正手段と、
前記画像取得手段で取得した前記画像に映る指標の状態に応じて、前記補正を実行するか
否かを判定する判定手段とを備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記補正手段は、前記指標に関する指標情報を用いて、前記補正のための補正量を算出
することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

40

前記指標情報には、前記指標に含まれる 2 つの点間の距離が含まれることを特徴とする
請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記指標情報には、前記指標の識別情報が含まれることを特徴とする請求項 2 又は 3 に
記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記撮像部と前記指標との相対的な静止状態に応じて、前記補正を実行するか否かを判
定する判定手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の情報処
理装置。

【請求項 6】

50

前記指標情報が、事前に用意されていることを特徴とする請求項 2 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

複数の方向から撮影を行う第一撮像部と、複数の方向から撮影を行うとともに、前記第一撮像部よりもカメラパラメータの時間変動が小さい第二撮像部とが互いに固定されており、

前記指標情報が、前記第二撮像部で撮影した画像から検出されることを特徴とする請求項 2 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

複数の方向から撮影を行う撮像部で撮影した画像を取得する画像取得ステップと、

10

前記画像取得ステップで取得した前記画像に映る指標の情報を検出する指標検出ステップと、

前記画像取得ステップで取得した前記画像に映る指標の状態に応じて、前記画像取得ステップで取得した前記画像に対する補正を実行するか否かを判定する判定ステップと、

前記判定ステップで補正を実行すると判定した場合、前記指標検出ステップで検出した前記指標の情報に基づいて、前記画像取得ステップで取得した前記画像における視差又は前記視差から求められる奥行き値を補正する補正ステップとを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 9】

複数の方向から撮影を行う撮像部で撮影した画像を取得する画像取得手段と、

20

前記画像取得手段で取得した前記画像に映る指標の情報を検出する指標検出手段と、

前記指標検出手段で検出した前記指標の情報に基づいて、前記画像取得手段で取得した前記画像における視差又は前記視差から求められる奥行き値を補正する補正手段と、

前記画像取得手段で取得した前記画像に映る指標の状態に応じて、前記補正を実行するか否かを判定する判定手段としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【0 0 0 7】

本発明の情報処理装置は、複数の方向から撮影を行う撮像部で撮影した画像を取得する画像取得手段と、前記画像取得手段で取得した前記画像に映る指標の情報を検出する指標検出手段と、前記指標検出手段で検出した前記指標の情報に基づいて、前記画像取得手段で取得した前記画像における視差又は前記視差から求められる奥行き値を補正する補正手段と、前記画像取得手段で取得した前記画像に映る指標の状態に応じて、前記補正を実行するか否かを判定する判定手段とを備えたことを特徴とする。

40

50